



海軍軍醫少監從六位勲六等藤森朝七郎
特旨ヲ以テ位一級被進
從六位勲六等 藤森朝七郎

敘正六位

右謹テ奏ス

明治三十四年一月八日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

明治廿四年一月七日

一月八日裁可一月公達

明治廿四年一月七日

内閣書記官

内閣總理大臣

甘文内閣書記官長

海軍軍醫少監從六位勲六等藤森朝七郎
ハ明治二十一年一月海軍少軍醫任官以來多
年軍務ニ從事シ勤勞不貳候處目下病
氣危篤ニ付文武官叙位進階内則第四條
ニ依リ特旨ヲ以テ位一級進メラレ然ルヘシ

内閣

海秘第三三三號

藤森海軍軍醫少監ハ明治二十一年海軍少軍
醫ニ任セラレ今二十五年十二月海軍大軍醫ニ任セ
ラレ愛宕軍醫長ニ補セラレ二十七八年戦役ノ際ハ
尚ホ全艦ニヤリテ戦功歟カラザリシヲ以テ勲六等軍
光旭日章及年金八十四圓ヲ授ケ賜ハル 爾后累進
シテ海軍軍醫少監ニ至ル其間十有二年余功績歟
カラス今般病氣危篤ニ依リ到底存命覚束ナリ候ニ
付文武官叙位進階内則第四條ニ依リ位一級進メ
ラレ度別紙上奏書進達ス

明治三十四年一月九日

海軍大臣 山本權兵衛



内閣總理大臣候爵伊藤博文殿

裏面白紙

31

海軍軍醫少監從六位勲六等藤森朝七郎
叙正六位
右謹テ奏ス

明治三十四年一月五日

海軍大臣 山本權兵衛



海軍